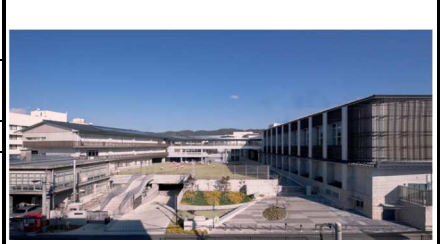


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)第一小中一貫校	階数	地上4階 地下1階
建設地	京都府宇治市	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	1,575 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2013年3月 竣工	評価の実施日	2012年11月1日
敷地面積	18,949 m ²	作成者	竹馬聡
建築面積	5,759 m ²	確認日	2012年11月1日
延床面積	15,644 m ²	確認者	井下仁史



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2 ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 4.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.0

3 設計上の配慮事項		
総合	黄檗山の景観に配慮し、低層(高さ15m)、敷地形状に沿った建物配置を心がける。既存の植栽帯「いこいの園」を保存・再整備し、自然に囲まれた学習環境の確保。	その他 万福寺参道の石積みの再整備、自主的な歩道の整備、景観に配慮した外構整備。
Q1 室内環境	普通教室は南面採光、自然換気システムの採用、F 建材の全面使用。交流サロンに、床輻射冷暖房システムの採用、教室天井面への吸音化粧石膏ボードの採用	Q3 室外環境(敷地内) 積極的な敷地内緑化、サブグラウンド芝生化。ピロティによる通風の確保 設計段階での地域住民、児童生徒へのワークショップ、陶板アートの児童生徒による製作
LR1 エネルギー	・児童生徒の環境学習も兼ねた、太陽光発電、自然換気システム、ピオトープの整備、発電量・消費電力・気温のわかる環境サインの設置	LR3 敷地外環境 風環境の把握による自然換気システムの提案、ピロティ、スポーツストリート等通風への配慮、都市下水への雨水放流による雨水流出抑制、地下駐車場の整備、廃棄物の分別、生ゴミの資源化
Q2 サービス性能	宇治市初の小中一貫校として「きずな」を育む9年間のまなびの場としてコンセプトに基づく建築空間を提案。交流サロン、メディアセンター、スポーツストリートなどが集まるしかけ、活動がみえる仕掛けを提案。	
LR2 資源・マテリアル	・雨水利用、リサイクル材(高炉セメント、電炉材、エコケープル、グリーン購入法適合品)ノンフロン断熱材、有害物質を含まない内装材(フローリング・ビニル床材、塗料)の採用	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される